

公開シンポジウム プログラム

ヒト iPS 細胞由来分化細胞の実用化 ～再生医療と創薬応用に必要な機能獲得をどう評価するか？～

日時： 2013年2月14日(木) 13:00～17:15

会場： 東京大学弥生講堂 一条ホール

主催： 国立医薬品食品衛生研究所

安全性生物試験研究センター 薬理部

本シンポジウムでは、ヒト iPS 細胞由来分化細胞の細胞機能を評価する方法と指標を検討するために、再生医療、創薬、基礎医学の研究者から、研究開発の現状や応用例などについて話を聞く。そして、ヒト iPS 細胞由来分化細胞の実用化のための必要条件について考える。

13:00～ 開会の辞

大野 泰雄 (国立医薬品食品衛生研究所 所長)

13:05～ はじめに

「ヒト iPS 細胞由来分化細胞の安全性薬理試験への応用可能性」

関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部長)

セッション1. 肝細胞

座長： 石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:15～ 「臨床肝細胞移植の視点から見た幹細胞分化治療用肝細胞が具備すべき形質について」

絵野沢 伸 (国立成育医療研究センター 臨床研究センター 先端医療開発室)

13:50～ 「創薬・毒性研究における細胞アッセイの現状と課題」

柿木 基治 (エーザイ株式会社 筑波研究所 薬物動態室)

14:25～ 休憩 10分

セッション2. 心筋細胞

座長：諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

- 14:35～ 「多能性幹細胞からの心血管細胞の誘導・純化・組織再構成」
山下 潤 (京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 幹細胞分化制御学)
- 15:10～ 「ヒト iPS 細胞由来分化心筋の薬効評価への応用可能性と限界：in silico 不整脈学に携わる臨床医の視点より」
芦原 貴司 (滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター)

15:45～ 休憩 15分

セッション3. 神経細胞

座長：佐藤 薫 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

- 16:00～ 「パーキンソン病に対するドパミン神経細胞移植」
高橋 淳 (京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門 神経再生研究分野)
- 16:35～ 「神経シナプスの成熟インデックスと iPS 細胞分化度評価への応用」
白尾智明 (群馬大学 大学院医学系研究科 神経薬理)
- 17:10～ 閉会の辞
関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部長)